

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年11月27日

計画の名称	中国地方の世界遺産と地域固有の観光資源を生かした島根・広島・山口広域観光活性化計画（重点　　）																			
計画の期間	令和０４年度　～　令和０８年度（５年間）											重点配分対象の該当	○							
交付対象	山口県																			
計画の目標	広島県・島根県・山口県では、中国圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「３.多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進」を推進するため、中国地方の４つの世界遺産をはじめ、日本遺産、日本三名橋などの歴史的観光施設や酒造り・神楽などの地域固有の文化を体感できる観光施設のほか、中国山地や瀬戸内海・日本海など世界的にも認められた自然資源、豊かな郷土料理、温泉等の多種多様で魅力的な観光資源を生かし、観光施設の整備・改修といったハード整備のみならず、地域固有の歴史・文化を発信するイベントの開催や大自然やダム湖面等を活用した体験型アクティビティなどの新たな観光コンテンツの開発・提供が進められているほか、Wi-Fi環境整備や観光案内所での外国語翻訳機器の導入などによる外国人観光客の受入環境も整ってきている。 さらには、中国地域観光推進協議会などにより海外への観光プロモーションや海外旅行会社と連携したモニターツアーの開催など外国人観光客の誘致に向けた取組も行われており、これらソフト・ハード両面での取り組みと合わせて、必要な基盤整備事業を実施することで、国内外観光客の効果的な誘客拡大と地域の活性化を図る。																			
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		5,640		A	5,640		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R8
1	【広島県・島根県・山口県　共通目標】拠点施設を有する市町への観光客数を5,882万人（R1）から7,036万人（R8）に増加（1,154万人（20%）の増加）			
	【広島県・島根県・山口県　共通目標】観光入込客数 （（観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　R1の年間観光客数）／（R1の年間観光客数）	5882万人	万人	7036万人
2	【山口県　単独目標】山口県の拠点施設を有する市町への観光客数を1,840万人（R1）から1,900万人（R8）に増加（60万人（3.4%）の増加）			
	【山口県　単独目標】観光入込客数 （（観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　R1の年間観光客数）／（R1の年間観光客数）	1840万人	万人	1900万人
3	【山口県　重点目標】山口県の世界遺産を有する萩市への観光客数を450万人（R1）から465万人（R8）に増加（15万人（3.4%）の増加）			
	【山口県　単独目標】観光入込客数 （（観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　R1の年間観光客数）／（R1の年間観光客数）	450万人	万人	465万人
4	【山口県　単独目標】山口県の拠点施設へのアクセス道路において、バイパス整備や現道拡幅により、事業区間内の走行時間を6%短縮			
	【山口県　単独目標】走行時間 （走行時間の短縮割合）＝（Σ事業前走行時間　－　Σ事業後走行時間）／Σ事業前走行時間×100	0%短縮	%短縮	6%短縮

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	（主）長門油谷線・西津 黄工区	現道拡幅 L = 1.0km	長門市			■	■	■	900		-
	A11-002	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	（主）長門油谷線・後畑 工区	現道拡幅 L = 2.0km	長門市				■	■	900		-
	A11-003	道路	一般	山口県	直接	山口県	国道	改築	（国）434号・宇佐工区	バイパス L=2.7km	岩国市	■	■	■	■	■	940	1.5	-
	A11-004	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	（主）岩国大竹線・関ヶ 浜～小瀬工区	現道拡幅 L = 0.3km	和木町、岩国市	■	■	■	■	■	300	1.7	-
	A11-005	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	（主）柳井上関線・伊保 庄工区	バイパス L = 1.2km	柳井市	■	■	■	■	■	2,600	1.6	-
										小計						5,640			
										合計						5,640			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	299	205	140		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	299	205	140		
前年度からの繰越額 (d)	0	179	110		
支払済額 (e)	60	274	158		
翌年度繰越額 (f)	239	110	92		
うち未契約繰越額(g)	0	27	23		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	7.03	9.2		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 中国地方の世界遺産と地域固有の観光資源を生かした島根・広島・山口広域観光活性化計画（重点 ）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○